

約760の企業・団体が出展。今年も東展示棟全ホールで開催

The Greener, The Smarter—えらぼう未来を 日本最大級の環境展示会 エコプロダクツ2012

2012年12月13日(木)～15日(土) 10:00～18:00 [15日(土)は10:00～17:00]



東京ビッグサイト 東展示棟1～6ホール 入場無料

(社)産業環境管理協会と日本経済新聞社は、**12月13日[木]～15日[土]の3日間、東京国際展示場(東京ビッグサイト)において、「エコプロダクツ 2012」を開催いたします。**企業・団体、NPO・NGO、行政・自治体、大学・研究機関、そして一般生活者といった様々な立場の人が、エコプロダクツや環境活動に触れ、それぞれのスタイルでエコライフの実現を考える、**日本最大級の環境展示会**です。

第14回目の開催を迎える「エコプロダクツ 2012」は、約760社・団体、1,750小間が出展予定で、東京ビッグサイトの東展示棟全ホールを使用し実施します。3日間で18万5千人の来場を見込んでいます。

本展示会では、家電や日用品をはじめ、化学や紙などの素材、エネルギー、金融、環境先端技術やソリューションなどあらゆる分野のエコプロダクツ・サービス、環境技術が展示されます。ビジネスパーソンには最先端の環境ビジネスに関する情報を、一般生活者には今日から始められるエコライフのヒントを発信します。また、出展企業のCSR活動や、環境系NPO・NGO、市民団体による活動、政府や自治体の環境政策なども紹介し、出展者と、多様な来場者との環境コミュニケーションを通じて、持続可能な社会の実現について考え、実践していくための場を提供します。

開催テーマは“The Greener, The Smarter—えらぼう未来を”

環境に優しい技術やグリーンな生き方が広がると、もっと賢くやさしい世界になる—。よりよい未来を実現するために必要な選択をし、私たちの生活や社会に前向きに、取り入れて行動していこうという意味を込め、今年の開催テーマを「“The Greener, The Smarter—えらぼう未来を”」としました。エコプロダクツ展では私たちが、新しい未来を選択するためのグリーン&スマートな最先端のエコプロダクツや技術を紹介していきます。

公式サイト(<http://eco-pro.com>)では、「オンラインガイド」で出展製品・サービスの情報や各出展者のプレゼンテーション予定などを検索することができます。ご来場前にチェックして、「エコプロダクツ 2012」を、より深く、より分かりやすくご覧いただけます(「オンラインガイド」は、出展者により随時更新されます)。

本展示会の情報を、貴媒体にぜひご掲載くださいますよう宜しくお願い申し上げます。また、ご掲載の折には掲載紙・誌、URLなどを広報事務局(最終ページ参照)までお送りいただけると幸いです。



エコプロダクツ 2012 の見どころ

最新のエコプロダクツや環境技術の展示だけでなく、様々な体験コーナー、ガイドツアーなどをご用意。ビジネスパーソン、子供、ファミリー、学生など、あらゆる世代の方が楽しめるブースが盛りだくさんです。

グリーン&スマートなライフスタイルと社会づくりのための環境ビジネスを各テーマゾーンで紹介！

■生活者のための Smart Community 2012

街全体の電力の有効利用や再生可能エネルギーの大量導入など、次世代エネルギー・社会システムの新しい形として注目されるスマートコミュニティ。現在、国内の各地域で実施されているスマートコミュニティに関するプロジェクトをテーマ展示の形で紹介します。また、「Smart Community 2012 ガイドマップ」を作成し、生活者にも身近なスマートハウスや省エネ建材、EV(電気自動車)、家庭用蓄電池など、主に住環境を中心とした「スマートコミュニティ」に関連する最新情報をわかりやすくご案内する予定です。



■森林(もり)からはじまるエコライフ展 2012

林業衰退や担い手不足などで人工林や里山が荒廃し、保全対策が求められている昨今、「森づくり」(森林・林業の再生)を進めながら「木づかい」(木材の利活用)も促進し、森林の循環を取り戻すことが必要不可欠です。様々な企業・自治体・団体の活動展示を通して、日本の「森づくり」「木づかい」の課題と展望を紹介します。今年は東北復興支援に向けて動き出した木材利用の取り組みや、世界中に広がる生物多様性保全に向けた森づくりキャンペーン「グリーンウェイブ」、森から海へのつながりを紹介する展示も併設します。

■環境未来都市ゾーン

21世紀の人類共通の課題である環境問題や超高齢化対応などに関して、持続可能な経済社会づくりを推進することが求められています。自治体が各地域の特色を生かして取り組んでいる、CO₂削減や再生可能エネルギー活用などの事例を紹介し、新たな街づくりのあり方を提案します。

エコな買い物からエコごはん、そしてエコカーの乗車まで！ 今日から始められるエコライフを体験！

■エコの最新動向を学び、新しい視点が発見できる魅力満載のエコツアー

会場内エコツアー…ライフスタイルからビジネスまで、「スマートエネルギーの活用」「省エネチャレンジ」ほか 6つのテーマごとに会場内を回るエコツアー。環境のスペシャリストが同行し、会場内の見どころや回り方のヒントを紹介します。

エコプロエコキッズ探検隊…小中学生向けの会場内ツアー。「温暖化防止」「3R」「食とエコ」などのテーマで、ガイドが会場をご案内します。

自然観察会…公園を歩きながら都会のなかに息づく生物多様性を実感する「自然観察会」。自然観察指導員の方々と一緒に回ります。

リサイクル工場見学会…会場内で出るゴミや主催者・出展者が廃棄する展示資材をリサイクルする工場の見学会を実施します。

英語・中国語・韓国語ツアー…海外来場者向けにそれぞれの言語で会場内を解説するツアーを実施します。

■「エコカー乗車体験」…電気自動車やハイブリッドカーなど、今話題のエコカーを乗車体験いただけます。

■「エコごはんスイーツ」…オーガニック食材や国産の旬な素材を使用したエコ弁当、繰り返し使用できる容器を使用した限定メニュー等、今年も種類豊富に取り揃えました。

■「グリーンストアーズ」…地球環境に配慮したエコなファッション、コスメ、ライフスタイルを提案するグッズなど、あらゆるエコプロダクツが購入できます。

■「自転車 Eco 学園」…注目を集めるエコな乗り物自転車。当ブースでは自転車の魅力を授業形式で分かりやすく解説。楽しみながら学べる“自転車検定”も体験できます。



—開催概要—

- **名 称:** エコプロダクツ 2012[第 14 回]
- **会 期:** 2012 年 12 月 13 日[木]～15 日[土] 10:00～18:00 [15 日(土)は 10:00～17:00]
- **会 場:** 東京ビッグサイト(東展示棟) 東 1～6 ホール
- **入 場 料:** 無料(登録制) ※ホームページ(<http://eco-pro.com>)で来場事前登録受付中
- **主 催:** (社)産業環境管理協会、日本経済新聞社
- **後 援:** 経済産業省、環境省、文部科学省、国土交通省、農林水産省、厚生労働省、(一社)日本経済団体連合会、(公社)経済同友会、日本商工会議所、東京商工会議所、(独)宇宙航空研究開発機構(JAXA)、(独)新エネルギー・産業技術総合開発機構、日本貿易振興機構(ジェトロ)、東京都、埼玉県、神奈川県、千葉県 [順不同]
- **協 力:** (公社)日本消費生活アドバイザー・コンサルタント協会、グリーン購入ネットワーク、(財)日本環境協会、全国連合小学校長会、日本私立小学校連合会、全日本中学校長会、全国高等学校長協会、全国国立大学附属学校連盟、全国小中学校環境教育研究会、私立大学環境保全協議会 (公社)全国工業高等学校長協会、全国商業高等学校長協会、全国農業高等学校長協会 [順不同]
- **メディア協力:** 日経 BP 環境経営フォーラム、日経エコロジー、ecomom、エナバーブルー/フィールドドライブ、環境 goo、教育新聞、GREENSTYLE、J-WAVE、日本教育新聞 [順不同]
- **来場対象:** ・企業経営者、企業の購買部門、環境管理部門、製品・商品開発部門、経営戦略部門、社会貢献部門 など
・自治体・官公庁の地域振興部門、購買部門、環境部門 など
・各業界団体、地域産業・商工団体 など
・環境 NPO・NGO、市民グループ、環境に関心のある一般消費者(ファミリー、主婦、学生、小・中・高生)
- **来場者数:** 185,000 人(見込み、前回実績:181,487 人)
- **展示規模:** 760 社・団体/1,750 小間(予定) (前回出展実績:752 社・団体/1,747 小間)
- **来場者からのお問い合わせ先:** フリーダイヤル 0120-261-122 (9:00～18:00 土・日・祝日を除く) ※12 月 21 日までのご案内です。

☞ **企画の詳細や最新情報のチェックはホームページで → <http://eco-pro.com>**

「プレス」ページでプレスリリースや前回会場写真/ロゴデータをダウンロードできます。ご利用ください。

☞ **プレスご来場について**

東 5 ホールの商談室(1)に、プレスルームを設けます。当日は、こちらのプレスルームにお越し下さい。

プレスバッジ・報道資料を配布いたします。

■ **本リリース、広報用素材に関するお問い合わせ先**

「エコプロダクツ 2012」広報事務局 共同PR株式会社内 担当:渡辺^{さちえ}(幸映)、宇津木

〒104-8158 東京都中央区銀座 7-2-22 同和ビル

TEL/03-3571-5238 FAX/03-3571-5380 e-mail: sachie.watanabe@kyodo-pr.co.jp

